

- 国土交通省では、完成から一定期間経過した治水施設の役割を地域住民の方々に再認識していただくため、「アニバーサリープロジェクト」を実施しています。
- 小野川放水路は、伊勢湾台風をはじめ内水被害が頻発していた六方川上流(小野川)の抜本的対策として、六方川上流(小野川)と袴狭川、入佐川を統合して、洪水時に流域内の約1/4の水を放水路によって直接出石川へ放流する施設です。
- 昭和45年から整備に着手し、平成9年に通水式を行った小野川放水路事業が今年で20年目を迎えたことを記念し、事業の経緯や放水路が果たしてきた役割について地域住民の方々に知っていただくパネル展を、豊岡市出石振興局、出石川防災センターの2箇所で開催しました。

開催状況

<豊岡市出石振興局 正面玄関ロビー>

- 開催日:平成28年11月28日(月)
～平成28年12月9日(金)

<出石川防災センター 防災展示コーナー>

- 開催日:平成28年12月22日(月)
～平成29年1月31日(火)



役場を訪れた方々も足を止め、パネルをご覧いただいていたました。



職員による事業の説明にも熱心に耳を傾けていただきました。



【住民の方々の感想】

- 川が整備され、最近では洪水になることもなくなった。このような施設があることで、みんなが安心して生活をおくれているのはとてもありがたいと思った。(50代 男性)
- 伊勢湾台風のときにはこのあたりまで水がきていた。洪水の写真を見ると被災したときの記憶やその光景がよみがえってくるので、こういう昔の写真をみせていただくことはありがたいと思う。(80代 女性)

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 調査第一課

〒668-0025

兵庫県豊岡市幸町10-3

TEL 0796-22-3126(代表)

